

津別町国保の特定健診受診率が低迷しています！

今こそ健診受診！ あなたの健康を守るのはあなたです

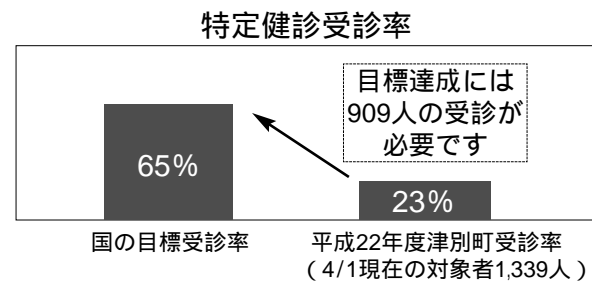
現在の健診受診率では、国保の保険料は増額されてしまいます！
年間約6,700円が増額される可能性があります

平成20年度から始まった特定健診をご存知ですか？

特定健診（メタボ健診）は、加入する医療保険者が実施主体となり、40歳～74歳までのすべての方（高血圧や糖尿病などで通院中の方も対象です）が受けることになっている健診です。

国は平成24年度までに、特定健診受診率65%を達成できなかった場合、ペナルティとして国保会計からの後期高齢者医療制度への支援金が増額され、結果として国保の保険料が増額されることとなります。

平成22年度の津別町の特定健診受診率は23%です。平成23年度は12月現在23%で、目標の65%を達成するのは大変難しい状況にあります。国保保険料が増額された場合、4人家族の方で年間約6,700円程度増額される見込みです。特定健診の自己負担はお1人1,000円です。特定健診を受診して、保険料の増額を防いだ方が家計的にお得です。



津別町国保は独自に検査項目を追加しています！

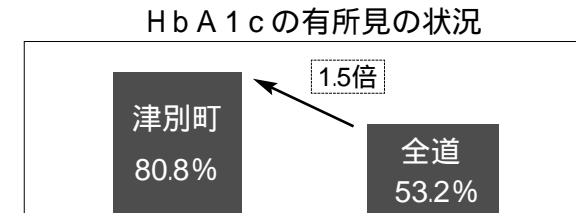
特定健診は国の基準に沿って実施しています。しかし、それだけでは人工透析の原因となる腎臓病や心臓病などを発見できないため、津別町国保では独自に下記の検査項目を追加で実施しています。

< 津別町国保が独自で追加している検査項目 >

クレアチニン（血液検査）	腎臓の働きを見ます。
尿酸（血液検査）	痛風を発見します。
ヘモグロビンエーワンシー HbA1c（血液検査）	津別町で増加傾向の糖尿病を発見します。
心電図検査 (50～64歳で高血圧などの治療をされていない方)	1人当たりの医療費が高くなる、心臓病などを発見します。

糖尿病の有所見者が受診者の約8割、全道平均の1.5倍！
津別町では独自に糖尿病の詳しい検査も行っています

平成22年度の特定健診結果では、受診者の約8割が糖尿病の指標となるHbA1cが有所見（正常値を超えている値）で、全道平均の約1.5倍多い状況になっています。糖尿病を予防するために、津別町では独自に詳しい糖尿病検査も実施しています。また、保健師や栄養士による保健相談も行っています。



高血圧や糖尿病で治療中の方にこそ、受けていただきたいのが特定健診です！

「病院で定期的に血液検査をしているから大丈夫」「先生が何でもないって言っているから大丈夫」と言って、特定健診を受けない方が多いのが実情です。しかし、医療保険で検査できる検査項目は限られています。高血圧と高脂血症で通院中の方は、糖尿病を検査するHbA1cや尿酸の検査を保険証を使ってすることはできません。しかし、町の特定健診では、通院の有無や病名に関係なく、全員に必要な検査を行っています。更に、心筋梗塞や脳梗塞などの重大な合併症予防を目的に、独自に動脈硬化検査も実施しています。

特定健診の流れ

5月中旬に、ご自宅に特定健診受診券をお送りしています

1. 健診を受ける場所と日時を決める

町民会館（申し込みは役場へ）
今年度は残り2月のみになります。
津別病院（申し込みは直接病院へ）
毎週木曜、第1,3土曜午前中実施
網走厚生病院（申し込みは病院へ）
人間ドックを随時実施しています。
どうしても受けられない方は
いつも通っている病院で
生活習慣病（高血圧、糖尿病など）
で病院に通っていて、特定健診と同じ検査をしている方のみ（みなし健診といえます）

2. 申し込む

3. 健診の準備

受診券・保険証などを
用意する。

5. 健診結果がくる

結果によって保健師や
栄養士と生活改善のため
の相談をさせていただきます
ことがあります。

4. さあ！健診に行こう！！

～町民会館で健診を受ける場合～

- ① 保健師の問診
 - ② 身体計測
 - ③ 医師の診察
 - ④ 尿検査
 - ⑤ 血圧測定
 - ⑥ 血液検査（血糖、コレステロール、尿酸、肝機能、腎機能）
 - ⑦ 心電図検査
- 必要な方には、眼底検査、貧血検査を実施。



6. さらに必要な方には

動脈硬化検査、糖尿病検査を行っています。

問い合わせ・申し込み先 役場 保健福祉課 健康医療グループ ☎76 - 2151（内線231、232、332）

今年度最後の特定健診は2月7、8日です。1月6日から申込開始です。詳しくは別紙折込み健診チラシをご覧ください！